

1

心と心をピピピと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

January 2020

VOL.123

# ishin-denshin

Let's コミュニケート!

2020 年も良い年になりますように

きおく画伯

蒲郡のキャラクター

社長と行こう! こっそり食堂

地元高級食材で社内ランチ

水野印刷工芸  
社内報

ミデコの日々の取り組みを  
知っていただくため、  
社外にもお配りして  
います。

みかわんこ▶



明けまして  
おめでとうございます。

特集

蒲郡を知ろう 鉄道について

# 特集

## 蒲郡を知ろう 鉄道について



蒲郡に住みはじめてもう30年以上経つ。なので断然生まれ故郷よりも長くなっているのである。でもそんな蒲郡を私はどれだけ知っているだろうか。歴史、文化を含めて知らないことが多いのはわかっている。

そんな私に仕事を通じて、お話しする機会があった蒲郡SLを守る会の鈴木さん。鈴木さんからお聞きした話をもとに蒲郡の鉄道について、拙い文章ですが、今回は、少し紹介させていただきます。

### 一鉄道唱歌って知っていますかー

『鉄道唱歌(てつどうしょうか)』は、作詞:大和田建樹、作曲:多梅稚(おおのうめわか)による明治33年(1900年)発表の唱歌。

第1集:東海道篇、第2集:山陽・九州篇、第3集:奥州・磐城篇、第4集:北陸篇、第5集:関西・参宮・南海篇の計5集が1900年に集中して発表されたものです。

その第1集:東海道篇の浜松から米原を歌った中に蒲郡が登場します。

右は入海(いりうみ)しづかにて  
空には富士の雪しろし  
左は遠州洋(えんしゅうやなだ)ちかく  
山なす波ぞ砕けちる

豊橋おりて乗る汽車は  
これぞ豊川稲荷道  
東海道にてすぐれたる  
海のながめは蒲郡(がまごおり)

見よや徳川家康の  
おこりし土地の岡崎を  
矢矧(やはぎ)の橋に残れるは  
藤吉郎のものかたり

若い方には馴染みがないでしょうが、私などはなんとなく鉄道唱歌のメロディーがわかるので口ずさむことができます。

さて、この鉄道唱歌に蒲郡の地名が出ているということはこの明治の時代に蒲郡に蒸気機関車が走っていたということ

なのですが、蒲郡に蒸気機関車が走るようになったのには、ある人物の尽力があったのです。

### 一先見の優れた人物一

東海道線は、はじめから蒲郡を経由すると決まっていたわけではありませんでした。

当初の計画では、旧東海道筋、つまり現在、名古屋鉄道が走っているルートを通す予定だったそうです。しかしながら、御油・赤坂から岡崎へいたる道は、地形がせまく、坂もきついため、当時の技術では、鉄道を走らせることが困難でした。

そんな折、神ノ郷村出身で、当時、宝飯郡

役所に勤めていた永島藤六郎は、「蒲郡ルート」を主張し、明治政府の鉄道関係者に対し、次のように進言しました。

「小坂井より西方・蒲郡・深溝を経て、岡崎に至り候時は、ほとんど平坦、急勾配を要せずして、工事容易ならん」、すなわち、蒲郡ルートは、地形も平らで、工事も簡単である。

藤六郎の家は、代々、神ノ郷村の庄屋を任されてきた家柄であり、藤六郎自身も、地元の人々にみかんの栽培をすすめるなど、地域のために尽した人物でした。

旧東海道筋では、「鉄道に客をうばわれて、宿場がさびれてしまう」「農作物が汽車のススでだめになる」といった反対運動があったといわれていますが、先見の明に優

### 東海道五十三次 御油宿から庄野宿 <https://350ml.net/labo/tokaido/map.html>



当初の計画だと蒲郡に鉄道が走ることはなかったのである。

### 蒸気機関車 SL、D51 201号機



蒲郡SLを守る会の皆さんの毎月の清掃と保全で今も輝いています。

れた藤六郎は、地域の発展のために鉄道は不可欠と考えたのでしょう。

駅の開設は、蒲郡の観光・産業の成長に大きく寄与しました。

(蒲郡博物館HPより抜粋)

### 一もし鉄道が通っていなかったら一

鉄道がもし通っていなかったら今の蒲郡はどうなっていたのでしょうか。

今でこそ。一家に1台以上の車を保有する家庭が増えていますが、明治、大正、戦前の昭和などは、移動手段としては、汽車あるいは船の時代だったと思います。竹島を始めとする風光明媚な観光地を持つ蒲郡も鉄道が通っていたからこそ、多くの文人に愛されたのではないのでしょうか。また、産

業においては、輸送手段としての鉄道が大きな力を発揮したことは想像できるような気がします。

### 一今、名鉄蒲郡西尾線に思う一

蒲郡に運行しているもう一つの路線、名鉄蒲郡西尾線。赤字路線として廃線になってしまうのではないかとこの路線の近くに住んでいる者としては心配しています。蒲郡市でも「市民まるごと赤い電車応援団」として、いろいろな活動を行っているがなかなか路線継続は難しいようです。

令和2年度までの運行継続は決定しているようなのですが、その後の3年度から7年度の協議を現在行っているそうです。進学

する高校生などにとって、とても大事な足である名鉄電車。なんとかいい結果のであることを願っています。



蒲郡のSLの話など  
教えてくださった鈴木さん

## 蒲郡SLを守る会

市内に住む小学生の手紙がきっかけで、昭和48年(1973年)7月にSLのD51 201号機が蒲郡にやってきました。「蒲郡SLを守る会」は、この貴重な資料であるSLを末永く保存しようと、ナンバープレートにあやかって、昭和51年2月1日に発足しました。以来、毎月のSL清掃をはじめ、毎年5月5日の「SL写生大会」や秋の「SL写真とミニチュア機関車展」開催などの活動

を続けています。

日本に保存されているSLは他にもありますが、自由にさわったり、運転席に乗ったりできるのは、蒲郡の201号機を含めてわずかです。

(蒲郡市博物館・蒲郡SLを守る会のチラシより引用)

今。現在も毎月の清掃、保全を続けているそうです。



毎年12月後半に合格祈願として博物館で無料配布されています。

### 一すべらない砂一

機関車は坂道を登る時、車輪がすべって空回りしないように線路にすべりどめの砂をまきます。このお守りの砂は、半田市蒸気機関車保存会が管理しているC11-265号機の砂箱に保管されていたものを、同会のご厚意によりお分けいただき、蒲郡市のSL、D51 201号機の砂箱に収蔵したものです。



# ミデコラム

今月のにわか編集長  
水野浩子

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第91回

## ケンメリ

最近自分の中で昭和ブームが来ております。ぎり昭和生まれ、実質平成人間なので昭和の文化や製品、映画は逆に新鮮なのです。トラック野郎、仁義なき戦い、井上陽水、狩人、北斗の拳、メカドックなど現代の充実したネット環境を駆使して昭和コンテンツを吸収中です。自分が存在していなかった世界がどんなだったのか、知りたい、見てみたいというのが動機でしょうか。ついには映像や音楽コンテンツでは飽き足らず当時の車に乗ってみたいくらい思い切って旧車をレンタルしてみました。



車両は1972年発表のケンとメリーのスカイライン。「愛のスカイライン」ってやつです。こっぴすかしい愛称ですが、逆にこれが新鮮なのですね。このケンとメリー、通称「ケンメリ」スカイラインのGT-R仕様車。見た瞬間引き込まれる圧倒的な存在感、これは渋い。男臭い。愛嬌もある。工業製品なのに何故か人間を感じる。オイル臭さが何とも乗り物感を出している。(最近の車は乗り物というより家電に近い印象がありまして)なんてことを思いつ

つ、さあ運転。借りた車両は本物のケンメリではなく、90年代のスカイラインをベースに作られたレプリカ車両なので、パワステ、オートマ、エアコン、ナビなど快適装備は一通り装備しています。ですが、90年代といってももう30年近く前。平成の車ではありますが、やはり現代の車とは違う。良い意味で堅固、質実剛健、物質感があります。パワステが付いているわりには重ステで片手運転は絶対にできないほどでした。ハンドル細くて、パワステのない時代はもっと大変だったんだろうなあ。走り出しは硬い、車高を下げているのもありガチガチです。自分の車も一応スポーツタイプなので足は固めなのですが、それとは比にならない硬さでした。長距離旅行は疲れるでしょうね。

この車、やはり注目されます。とにかく視線を感じます。最初は恥ずかしいと思いつつもだんだんと快感に。おじさま達からの熱い視線を集めました(汗)。声をかけていただいたりもしました。古い車に乗っているとまるでタイムマシンのように車窓が昭和に感じます。昭和の時代はこんな感じだったのかなと想像しながら運転してました。より昭和への没入感を高めるために、70年代の音楽を流したりして雰囲気づくりも欠かしません。今の時代スマホがあれば往年の名曲もすぐに聴くことができます。昭和も魅力的ですが、現代の便利さは捨てがたい。ただフェンダーミラーは見づらい。車線変更とバックが怖くてしょうがない。バック駐車は3.4回切り返してようやく駐められるほどの下手くそさでした。(初心者の時より下手でした…)

この車で実家にも帰りました。父親が昔、ケンメリの4ドアに乗っていたので多分懐かしんでくれたと思います。今回は

昭和を五感で体感することができました。これからも昭和への探求は続きます。古きを知って新しきを知る。まさにこの言葉がリアルに胸に刺さります。来年はさらなる「温故知新」の年にしていきますよ。



にわか編集長コメント

フェンダーミラーってサイドミラーのことですよ。私が20代の頃、フェンダーミラーからドアミラーに徐々に車がなっていました。最初のうちドアミラー見づらかったよなあ。



第90回

## 足して割ったら ちょうどいいんか?

おかげさまで次男のまきまき終了!今は夜・湿布、朝・サポーターを着用する日々…年内は運動禁止なんですって…そりゃそうか。

今回闘病の様子(?)を逐一長男に報告してたんですが、「痛みがあっても多少無理しないとまたすぐ怪我するよ。俺は多少痛みを感じるくらいに力を入れて痛みになれるようにした。その方が早く復帰できる」だの「筋トレと体

# きおく画伯

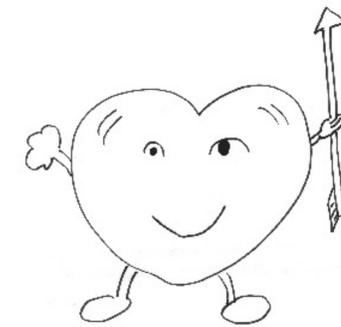
第42回

お題 ハートム

描いた人 社長



「人にやさしい街づくり」事業の一環として、1996年に誕生したという蒲郡のマスコットキャラクター。杖の先端は「G」が正解ですが、蒲郡市民なら一目でハートムとわかるはず…



幹ちゃんとやってる?」だの、その筋のベテランっぷりをいかんなく発揮。つまり、それくらい覚悟しないとすぐ脱落しちゃう中でサッカーしてたわけで。親元を離れて一人で三年間ずっとそんな環境の中でやってたんだなあ…と今更しみじみ。

と、美談(?)で終わらないのがうちの長男。現在名古屋でバイトもしてるんですが、ちょいちょいバイト先で

「え?銀行員は公務員じゃないんですか?」みたいな恐ろしい妄言を吐いては店長に将来を心配されている様子…この子を一人で三年も出すんじゃなかった…親元離れてホントにサッカーしかしてこなかった模様…うちの長男、幼少期は入園前に読み書きできて、「すげえ奴が入ってくる」って一部のお母さんをざわつかせたんだけどな…(遠い目)次男はお勉強頑張って進学しようね!もう決めた。やばいのは一人で十分だ。

そしてその次男、チームに帯同してるもサッカーできないジレンマが多少なりともあるようで、チームメイトのいつものいざこざ?をなんとなくだめに入ったら、分の悪かった方の子に

「なんでお前が口出すんだよ!」と、ごもっともな逆ギレをされ

「頭にきたから逆に論破してやった」そう。な。(仮にA君としよう)次男のマシンガン反撃トークをまともに浴びたA君は、しょんぼりして「もういい」と引き下がったそう。不慣。技より口の立つ男は変わらず健在のようです。

にわか編集長コメント

いいこと聞いた!「筋トレと体幹ちゃんとやってる?」とうちの50オーバーの長男に言うておきます!



第14回

## オムライスランチ

蒲郡駅の周りはクリスマス飾りとライティングがとても綺麗です。クリスマスイベントはキリスト教の祭りなので世界でいろいろな国でも行なっていると思います。ミャンマーでも賑やかに行なっています。私は静かなところに本を読みに行きました。

蒲郡駅の近くのCats-Cafeという店に入ってクラシックオムライスとミルクベリーパフェを注文しました。その後オムライスを食べながら遠くから聞こえる「Jingle Bells」というクリスマスの音楽を聞きました。その歌は私の心の中で気分がいいと感じました。オムライスの材料はパセリ、ケチャップ、ご飯、鶏肉、玉ねぎ、卵です。

日本の味は私の口に合っています。日本で初めて食べたオムライスはとても美味しかったです。ミャンマーでも「Tokyoトマト」という店で一回食べたことがあります。ミャンマーの味も美味しいです。ミルクベリーパフェの中身はいちご、ブルーベリー、なまクリーム、ICE、ラズベリーです。果物がいっぱいベリーパフェの味が美味し



いです。

クリスマスと正月も近いです。人生の1年が終わりました。これまでの私の人生を分析すると14年くらいは勉強ばかり、5年以上は仕事ばかりなので楽しいことをして過ごすことが少ないと思いました。仕事、勉強ばかりだったら人間らしくないと思いました。お店でプログラミングの本を読みました。プログラミングは作業の時間を短く、作業スピードを高める、機械の制御、人間はできないことを機械が24時間できるという内容を理解できました。私も企業のためのプログラミングではなくて人間の楽しめるゲームも頑張りたいと思いました。お店で1時間ぐらい読書、ランチを食べて過ごして最高でした。

にわか編集長コメント

人生の1年。こんな風に思って生きてこなかった私。くう、ねる、ねる的な50何年でした。



第91回

## 苦手意識は記憶の上書きして和らげよう。

明けましておめでとうございます。元島民です。これがお手元に届くころには昨年のお話になっていると思いますが、2019年の暮れ、豊橋にある[MUSASHI Innovation Lab CLUE](豊橋駅直結のココラアベニューという建物内)で行われた「愛知で挑戦する女性を応援」Challenge × Woman

というイベントでピッチに初挑戦しました。  
注)ピッチというのは短いプレゼンで、既製品を売り込むための提案ではなく、新しいアイデアや概念の提案をするものだそうです。  
なんでこれに登壇しようと思ったのか。それは実にシンプルな理由です。

プレゼンや成果報告の際、自分の下手さを(愛のある)酷評され悔しかったから(笑)大きく立ち上がるプレゼンへのコンプレックスを払拭するには成功した記憶をつくって上書きするのが一番早い。一年の締めくくりには今年はじめたマネマタとクリアデザインのこれからについて今の考えを発信してみることにしました。どうせやるなら、旅の恥はかき捨て的にあえて少し遠くでやろう(そうすれば顔見知りもこないしw)というセコイ考えも挑戦を後押ししました。

今回はまずたたき台をつくって友人に聞いてもらいそこでボロクソ酷評してもらいつつ軌道修正、前日にまた別の友人に予行演習の相手になってもらい、仕事そっこのけで入念に緊張の厄落としをして当日を迎えました。

これ、あとで気づいたんですが、日頃デザインの仕事でやってることとすごい似てるんですね。まず、超ざっくりでいいんで簡単なたたき台をつくって人に見せる。そこで、相手の最初のリアクションで大きなズレがないか確認し、軌道修正をいれて完成度をあげていく。

プレゼンの腕が全くないのに、人に評価されるのが恥ずかしくて今までこれをやらずにぶっつけ本番で挑んでいたのが下手くそなのは当然だったわけです。

今回のチャレンジ、まだまだ他の人と比べたらすごい下手なのはわかってるけど、当初の目的である人前で話すことへのコンプレックスは払拭できたので、わたし的には大成功でした。

1月中旬に削除しますが、今回の発表の練習時の動画です。(限定公開)

めちゃくちゃ恥ずかしいですがよかったらQRコードを読み込んでみてください！

にわか編集長コメント  
チャレンジしている

康子さん、めっちゃ尊敬しております。康子さんの年齢の頃、私、韓流ドラマにどっぷりはまっていたような。時間超もったいなかった！



第91回

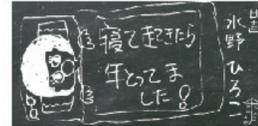
## 深夜ドラマの金字塔

ミーハーの悲しい定めなのか、とにかく気になるドラマや映画、バラエティー番組の録画が溜まる一方。しかもお嬢が見たい数々のアニメ群と競うように録画をするものだから、ハードディスクはいつもパンパン。毎週ブルーレイディスクへの保存とハードディスクの空き容量を少しでも増やすことが任せられた大事な家事の一つだ。しかしながら一度も見ることなくお蔵入りになったディスクも数多い。そんな中、最近必ず欠かさず見ているお気に入りドラマがある。テレビ東京系毎週金曜深夜の「孤独のグルメ」だ。シーズン8にも関わらず初めてこの「孤独のグルメ」を知ったのは昨年未の生放送スペシャル番組が初めてで、主人公の井之頭五郎を演じる松重豊大先生のとにかく気持ちの良い食べっぷりに一瞬にして虜になってしまった。そんなことがきっかけで今回のシーズン8は毎回楽しみにしていた。輸入雑貨商の五郎(松重豊)は仕事先で自由気ままに飲食店に入り、食べたいものを味わい尽くすグルメ版ドキュメンタリードラマ。オープニングは「時間や社会に囚われず、幸福に空腹を満たす時、つかの間、彼

は自分勝手になり自由になる。誰にも邪魔されず、気を遣わずものを食べるという孤高の行為。この行為こそ現代人に平等に与えられた最高の癒しと言えるのである」の渋いナレーションで始まる。冒頭で仕事の商談的な話をチョロっとすると必ず「腹が減った…」となり、空腹を満たそうと本能のおもむくまま近隣のお店を探して食事をする。そしてお店を立ち去るシーンでエンドロールという流れはシーズン1から一貫している王道パターンだ。さらにお店の主人や女将、店員に意外な大物ゲストを起用したり、五郎さんの心の声とBGMがとにかく秀逸、特に食事の終盤にフィナーレに向かって「最後はコレでどうだ」みたくBGMで盛り上げる演出は感動モノ。なによりどんな料理も残さず美味しく食べる五郎さんの姿に共感し、自分も食べてみたいと思わせてくれるところに毎回惹きつけられるのだろう。これが「夜食テロ」と呼ばれる所以か、この時間帯に「孤独のグルメ」を放送するのはある意味、罪な番組かもしれない。聖地巡礼と称して実際の飲食店を訪れる人も多いとか。きっと五郎さんが行ったお店は相当な宣伝効果になるんだろうなと思いつつ、もうすぐ最終回を迎えてしまうことが残念でならない。しかしここで朗報！今年も令和元年最後の夜に五郎さんが帰ってくるらしい。大晦日の夜、どんな街でどんな絶品グルメを味わうのか、正直NHK紅白歌合戦どころではないのだ、ハハッ！

にわか編集長コメント

私もビデオのハードディスク知らないうちのゼロになって撮れてないことが何度か。まあ、録画するだけで観ないのがハードディスク、パンパンの原因なんですよ。



第90回

## 裸眼で動ける

平成最後のくそ暑い真夏に右目の白内障の手術をし、無事、ボーっとしていた右目がはっきり見えるようになり、目の度数も今までの0.02という尋常ではない近視から1.2という小学生低学年以来の視力を手に入れた。しかし、左目は白内障の症状がないので手術するわけにもいかないの、左右の目の視力の差が極端にあるという現在である。

手術の前にお医者さんから「左目はコンタクトに」という話にも長年メガネ生活の私は、今使っているメガネを右目だけ、度のないガラスにかえればいいのではと単純に考え、手術前に片目をガラスに変えてもらった。お値段5000円弱。

「コンタクト使うより楽だし、コンタクトのお金もかからないし、私って賢い」と自画自賛を心の中でし、とりあえず一月分だけの片目の使い捨てコンタクトを購入。

しかし、考えの浅い自分であることを自覚する結果に。賢い私が考えた、片目ガラスのメガネはちょー見づらく、なぜなら右目、左目のレンズが右目左目どちらの目も両方のガラスが目に入ってしまい見えるには見えるが見づらくてたまらないという結果に。そしてメガネは、ケースの中から出る事がなくなった。あー 5000円掛けたのに。

人の言う事は素直に聞きましょう。と大人になった私に大人の私がい聞かせる始末。

こんな浅はかな私だが、朝一はコンタクト無し、つまり裸眼で朝ごはんの支度ぐらいは、右目の力のできる。これは、ホントに助かる。あーあの暑い夏に顔を洗うこと、髪を洗う事を我慢したかいたがよかったよ！ホントに！

にわか編集長コメント

白内障の手術やったのが令和だったかなと思ってたのですが平成でした。ほんと時の過ぎるのが早い！

## 一日は道

水野 順也

第90回

## シティセールスの意味

シティセールス、シティプロモーションといった言葉はよく耳にする。直訳すれば「都市の売込み」となる。地方都市は財政が厳しい、そんな中で地域資源を再発見し、発信して観光や移住、あるいは流入人口を増やして経済的にも効果を見出そうとしている。

マーケティング的に表現するならば、①地域の魅力を発信し、②知っていただき、③興味を持っていただき、④訪れていただき、⑤買っていただき、⑥ファンになっていただき、⑦リピーターになっていただく。その結果、地域に住む人々がその地域に住んでいることに誇りを持ち、さらに街

が活性化するということである。要は地域に住む人々に自分の住む土地に愛着を持っていただき、共に街の活性化に参加していただくことを目的にシティセールスは成り立つ。子どもからお年寄りまでが「おらがまち自慢」を声高らかに口にできるようになる。そんな地域になればシティセールスは成功ではないかと思う。シティセールスは行政だけの役割ではなく、ある意味市民が主体でやらなければならないことだと思う。

にわか編集長コメント

蒲郡のシティセールスといえば、ガマゴリうどん。何年前かに「東京フレンドパーク」という番組で俳優の要潤がうどんといえばお題にガマゴリうどんと答えたのは嬉しかったなあ。



毎月、クジで当たった社員が社長と様々なお店を巡りランチを共にするこのコーナー。今月は、いつものように出掛けるのではなく、会社で調理してみんなでいただいたランチについての特別バージョンでお送りいたします。

今回ご紹介させていただくのは、新城市の精肉店、肉のさかい(サカイフーズ)さん。

その希少性から「幻のブランド牛」と言われる、奥三河の「鳳来牛」を地元新城で唯一加工販売しているお肉屋さんです。先日、鳳来牛とサカイフーズさんのウェブサイトを弊社で制作させていただいたご縁で、立派な箱入の鳳来牛をいただいたので、社員みんなですき焼きにしてご相伴にあずかりました。

まず箱を開け、きれいにサシの入ったお肉を見て大歓声。見るからに美味しそうなお肉でしたが、食べると上質な脂がさらりと溶けて、その美味しさに大感動です。たまには豪華に地元のブランド牛を楽しむのもいいな、と感じた贅沢なランチタイムでした。

レッツ  
コミュニケーション!

今月のお題

お正月何する予定?



巳と向合う



初日の出



半次直樹  
お正月の過ごし方



左様と遊ぶ



今更寝る



子物のとららい店で  
穴のめ新年会



大宴会

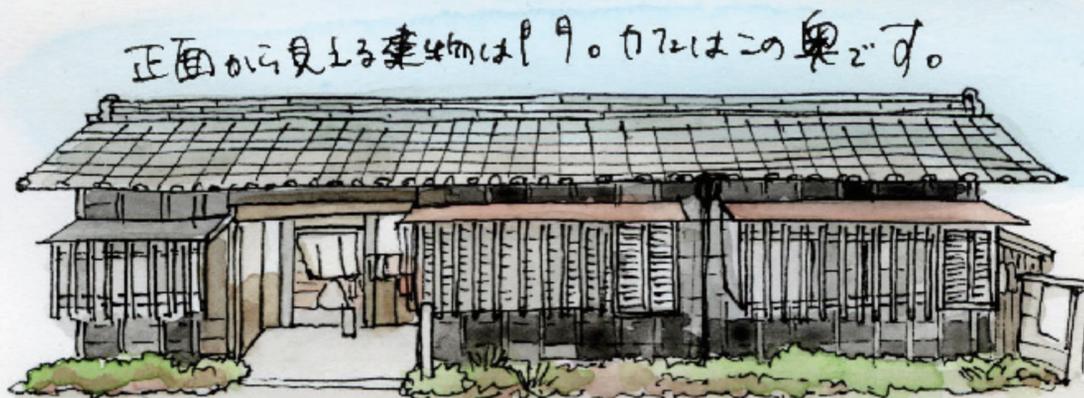
# あだちペンツ のびっか日記

2019.12.17 Tue.

file.42

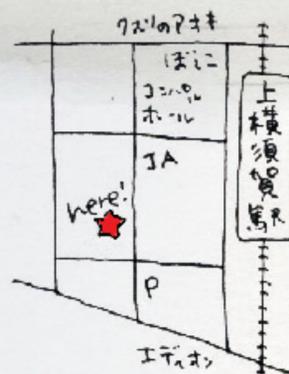
冬  
夏  
青  
青

とうがせいでい



正面から見ると建物は19。17はこの奥です。

立派な月形構土の大きな古民家を  
改装してカフェ。贅沢に空間を使い、  
ゆとりとテラスが設置されています。  
数量限定のランチはすぐになくなり、  
しょうとうなので、平日午後からのんびり  
お茶を楽しませてくださいませ！  
最高のひとときを過ごすことができます！



OPEN / 11:00-17:00 (L.O. (6:00)) CLOSED / 月・日曜日 台西尾市吉良町上横須賀宮前133



704  
530円

珈琲  
520円

## にわか編集長 コメント

レトロでいい感じのお店ですね。ちょっと苦いプリンのカaramelソースが好きなのですが、私好みイラストから伝わってきます。絶対プリンをパカってやって出してませんよね。ぜひ、味を確かめに行きたいです。

## 今月のがまごおり百景

### 唐突な飛行機

撮影者：山本兼佑

浜名湖に唐突に設置されている飛行機 イギリス空軍輸送機「DC-3 ダコタ」。こちらは実は映画撮影用のレプリカだそうです。レプリカとは思えないクオリティで、本物にしか見えません。「飛べ！ダコタ」という映画だそうです、ちゃんと事前にチェック（鑑賞）しておきました。おすすめです。



- チラシ
- ウェブデザイン
- 社員研修
- パンフレット
- 看板
- ポスター
- イラスト
- DM

ウェブデザイン  
多くご依頼いただいています！

2019年  
完了案件数 **95件**

## 今月の

## にわか編集長

編集後記も持ち回り制！

今年の冬は、あったか〜と思うのは私だけ（年のせい？）今シーズン、コートを着たのは数えるほどなんですよね。とは言っても世間ではインフルエンザが流行っているそうなので、皆様お体に気をつけて令和2年スタートしましょう。因みに今まで一度もインフルエンザにかかったことのない私。引き続き記録を伸ばす予定です。Do not catch the インフルエンザ！

水野 浩子